

第5回自然と人間との共存に向けての河川環境復元に関する国際セミナー参加報告 (in韓国)

リバーフロント研究所 主席研究員 塩井 直彦

1. はじめに

平成26年10月に韓国（ソウル及びコヤン）に出張し、韓国建設技術研究院（KICT）が主催する「第5回自然と人間との共存に向けての河川環境復元に関する国際セミナー」に参加し、「日本の河川環境施策の動向」と題して発表を行いましたので、概要について報告します。

なお、本セミナーへの参加については、KICTからの依頼を受けて対応したものです。

2. セミナーの概要

目的：韓国建設技術院（KICT）においては、国土交通部（日本の国土交通省にあたる）からの研究テーマとして、河川環境復元に関する研究を進め、この一環として国際セミナーを開催してきたところであり、河川環境復元の取り組みについて情報交換を図る。

日時：平成26年10月20日（月）～21日（火）

場所：KICT（セミナー）及びソウル近郊（フィールドトリップ）

主催：KICT, Green River Research Center

参加者：約50名（学識者、KICT研究メンバー）

韓国では、4大河川事業が2008年から2012年にかけて実施され、現在、KICTでは、そのフォローアップ的な位置づけとして4年間の「グリーン・リバー・プロジェクト」を実施中です。

このプロジェクトの取り組みに関連して、本セミナーは実施されました。

セミナーは21日の午後に開催され、4つのトピックからの講演がありました。

主催者を代表してKICTのDirectorのKim氏から挨拶が述べられた後、以下の発表が行われました。

Topic 1 「日本の河川環境施策の動向」

（リバーフロント研究所 塩井）

Topic 2 「河川環境のアセットメントシステムの取り組み」

（韓国Inha Univ. Kang-HyunCho教授）

Topic 3 「土壌と植生との関係に着目した河川環境復元のマネジメント」

（チリ Univ.of Concepcion

Claudio Meier 教授）

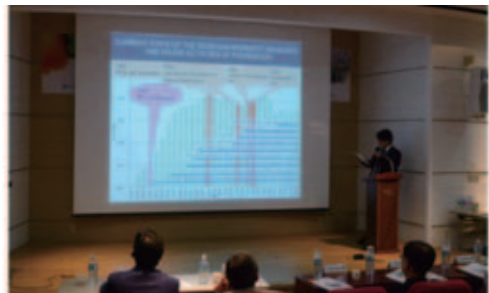
Topic 4 「韓国の洪水時の水質問題」

（韓国 Kangwon National Univ.

Bom-Chul Kim 教授）



セミナーが行われた KICT（コヤン市）



発表の様子

会議に先だって、21日の午前中にはKICTの研究グループメンバーや関係大学の教授との間で、河川環境復元の取り組みに関するフリーディスカッションを行いました。事業の優先順位を考慮するための環境目標の設定、環境管理計画（ゾーニング）、樹林化対策など、日本と同様の課題に取り組んでいることが分かりました。

セミナーの前日には、Field Tripが行われ、漢江のイポ堰（Ipo Weir）やソウル中心部の清溪川（Cheong Gye Cheon）の視察を行いました。

3. おわりに

今後も関係国間で、河川環境復元について幅広く技術交流が行われることを期待します。

なお、今回のシンポジウムへの参加にあたっては、KICTのAhn,Hong-Kyu氏にお世話になりました。感謝申し上げます。